

事業概要

堺は、古代から近代、それぞれの時代において、自治と自由の精神で切り拓いてきた日本の中で唯一の都市であると言えます。

古代には、国家が形成され、その繁栄のシンボルと言える世界三大古墳の一つである仁徳天皇陵古墳が建設されています。

また、中世では、南蛮貿易や日明貿易など国内外の国や地域と交流し、その文化や技術を積極的に取り入れ、日本でも有数の自治都市として発展しました。当時の堺が戦乱の絶えない時代背景の中にあって発展した基盤には、ヒトやモノが活発に行き交い、経済面のみならず、社会的、文化的に豊かな状態、すなわち、都市が平和な状態であったと言えます。

近代においても「もののはじまりなんでも堺」と言われたように、進取の気風により商工業が発展しました。

とりわけ、中世に千利休が大成した茶の湯の文化の、「茶室においては武器を持たず、身分の上下もなく、相手を敬い、心を通じ合わせる」という「もてなしの心」は、まさに堺が生んだ平和と人権尊重の文化であると言えます。

堺には、今もこのような歴史を背景とした「もてなしの心」や自由と自治の伝統が受け継がれています。

また、堺のまちは、応永の乱、大坂夏の陣、第二次世界大戦の堺大空襲という三度にわたる戦火に遭い、多くの生命や財産を失うという歴史を有しています。

堺のまちに暮らす人々は、そのたびに復興を果たしてきました。

平和を礎にして発展した歴史を有し、これまでも平和の実現及び人権課題の解決に向けて積極的に取り組んできた堺市は、平成 18(2006)年の政令指定都市移行を契機に、国際平和の実現と維持をめざし、平和と人権の大切さを国内外に発信し、平和社会の実現に寄与することを目的として平成 19(2007)年 1月に「堺市平和と人権を尊重するまちづくり条例」を施行しました。

堺市は、この条例の理念に基づき、平和と人権尊重の重要性を発信し、市民の皆様をはじめ多くの人に国際協力、貢献活動に対する理解と認識を深めていただくとともに、世界で行われているさまざまな活動を支援し、一層の発展につなげ、都市として国際貢献を図ることを目的に、「自由都市・堺 平和貢献賞」を創設しました。

堺市は、「自由都市・堺 平和貢献賞」を通じて、平和社会の実現に向けて「もてなしの心」をアジア・太平洋地域から世界に発信していきます。

